

令和6年度 キャリア教育発達段階表

	具体的活動（ステージ1）	具体的活動（ステージ2）	具体的活動（ステージ3）	具体的活動（ステージ4）
自分のことは自分でできる子	・日常生活に必要な意思表示や要求ができる。	・自分の要求、困った時や嫌な時の気持ちを表現できる。	・気持ち、意見、要望を自分なりに伝えられる。	・自分の意見、要望を適切な方法で伝えられる。
	・身近な人にあいさつ（おはよう/こんにちは/さようなら/いただきます/ごちそうさま等）ができる。	・教師と一緒に簡単な係りの仕事ができる。	・指示や説明を聞いて活動できる。	・TPO(時と場所、場面)に応じて感謝やいたわり、反省などの自分の気持ちを伝えることができる。
	・自分の好きな活動を知り、楽しむことができる。	・落ち着ける場所、楽しい活動を見つけたり選んだりできる。	・作業分担や役割が分かる。	・役割を意識して活動に取り組める。
	・支援を受けながら、活動に取り組むことができる。	・時計/タイマーを利用し時間を意識できる。	・基本的な生活習慣が概ね確立できている。	・活動への工夫、改善ができる。
	・支援を受けながら、作業の準備や片付けができる。	・おおまかな見通しを持ち、やること分かる。	・時間を意識して活動できる。	・情報を収集し役立てる経験を積むことができる。
	・支援を受けながら、活動の内容を部分的に理解して取り組める。	・各自の方法でスケジュールを確認し、生活できる。	・1日のスケジュールを意識し、活動ができる。	・すべきこと・したいこと（目標）が設定できる。
	・将来へ向けての体力づくりに励むことができる。	・仕事や役割が理解できる。		・状況に応じて、自分で予定を変更できる。
				・スケジュールを立てて活動ができる。
自分らしくふんばる子	・自分の好きな学習活動を見つける。	・不快なことや不快な場所や場面を避けれる。	・進んで活動に取り組める。	・自分の役割を責任持って果たそうとする。
	・支援を受けながら、身の回りのことを自ら行う。	・1人でできることを増やせる。	・生活（学校・家庭）の中で役割を果たし、喜びややりがいを感じて取り組める。	・将来への希望をもって、主体的に活動に取り組んでいる。
	・支援を受けながら、苦手なことにも取り組める。	・やりたいことを見つけ、やってみようとする。	・自分のやりたいことを踏まえて、活動を選べる。	・自分の特性を意識して活動できる。（自分を知る）
		・選択肢の中から好きなものを選べる。	・不安や不快を解消する方法の模索ができる。	・活動の中で自己コントロールできる。
		・楽しみを期待して嫌なことにも取り組める。	・予定の変更が受容できる。	・苦手なことや不本意なことも受け入れ、必要なことは伝えることができる。
		・好きなことを増やせる。	・活動を通して達成感を実感し、次回への意欲を持てる。	・自分の目標に向けての取り組みができる。
成長を実感できる子	・活動の中で「分かった」「できた」という達成感を持つことができる。	・生活の中で、自分に任された役割をやろうとする。	・自分の興味・関心に基づいて、より良い選択をしようとする。	・自分の役割にやりがいを持てる。
	・褒められたら喜ぶことができる。	・ありがとうございますと言われて喜ぶことができる。	・知ったことや学んだことを活動に活かすことができる。	・自分の特性について肯定的に捉え、努力することの大切さがわかる。
	・できたことを教師と一緒に喜ぶことができる。	・いろいろな活動を通して、興味・関心を広げ、チャレンジして活動しようとする。	・活動の振り返りと次回の課題の確認ができる。	・活動を通して働くことの喜びを知ることができる。
	・体験したことに興味や関心を持つことができる。	・活動に取り組んだ後、頑張ったことが言える。	・自分の担当、任されたことをやり遂げることができる。	
			・得意なこと、好きなことを増やしていける。	
自分や他の人を大切にできる子	・友だちや身近な人と、積極的に関わろうとする。	・ありがとう、ごめんなさいが言える。	・人の話、意見が聞ける。	・相手の話を理解し、積極的な関わりができる。
	・友だちや教師と一緒に集団活動に参加することができる。	・友だちや身近な人の良い所を見つけることができる。	・TPO（時と場所、場面）を意識した言葉遣いができる。	・集団の一員として活動に取り組める。
	・友だちと一緒に活動や作業ができる。	・友だちと協力して活動や作業ができる。	・相手の立場に立って、考えることができる。	・友だちの良さに気付き、認めることができる。
	・信頼できる好きな人を見つける。	・友だちと一緒に簡単なごっこ遊びやルールのある遊びができる。	・集団の中で生活の流れに乗り、一緒に活動できる。	・相手に対して、TPO（時と場所、場面）に応じた言動ができる。
地域の中で暮らせる子	・家族、友だち、教師などの身近な人を意識し、一緒に手伝いすることができる。	・生活の中に決まりやルールがあることが分かる。	・出会った人に自分からあいさつできる。	・立場や意見を理解し、コミュニケーションを取り、活動できる。
	・規則正しい生活を送ることができる。	・マナーを守って公共物を利用できる。	・生活の決まりやルールを意識し守ることができる。	・集団や社会のルールを守り、協力して活動できる。
		・簡単な買い物ができる。	・社会的ルール（社会規範）を意識できる。	・社会生活の決まりや制度を理解して守れる。
		・目標とする人やあこがれの仕事を見つけることができる。	・社会的ルール（社会規範）を守ろうとする。	・情報を実際の生活で活かせる。
			・いろいろな仕事（職業）を知っている。	・活動を通して働くことの意義を知り、自己の進路に活かせる。
			・将来「働くこと」を意識している。	
			・目標に向けた計画的取り組みができる。	・労働による収入が生活の基盤になることが理解できている。
				・将来的にやってみたい仕事を模索できる。
			・余暇として得意なこと、やりたいことを見つけることができる。	